

FUJITSU Software

ServerView Infrastructure Manager V2.2

用語集


第 2.0 版 2018 年 3 月

CA92344-2047-02
富士通株式会社

Copyright 2017 -2018 FUJITSU LIMITED

変更履歴		
版数	変更年月	変更内容
1.0	2017年12月	新規作成
2.0	2018年3月	No.4 「ISM連携」を新規追加 No.17 「仮想化管理ソフトウェア」の意味を修正・追加 No.30 「タスク」の意味を修正 No.34 「ノード」の意味を修正

No.	用語	意味
1	ISM	本製品、ServerView Infrastructure Manager の略称です。
2	ISM-VA	本製品は仮想アプライアンス形態で提供されます。本書は、本製品の機能を含んだ仮想アプライアンスを ISM-VA と記載します。
3	ISM 管理者	Administrator グループに属し、Administrator ロールを持つ ISM ユーザーを指します。
4	ISM 連携管理	他 ISM のステータス情報をダッシュボード上に表示して、ステータスを管理することです。
5	Offline アップデート	ノードの電源がオフの状態(PCI カードの場合は搭載されているサーバの電源がオフの状態)で行うファームウェアアップデートです。
6	Online アップデート	ノードの電源がオンの状態(PCI カードの場合は搭載されているサーバの電源がオンの状態)で行うファームウェアアップデートです。 サーバ(BIOS/iRMC)の場合は、電源がオフの場合も使用できます。
7	3D ビュー	フロア内に配置されたラックとラック内のノードを 3 次元表示し、ステータスや吸気温度、消費電力を俯瞰して監視できます。
8	アカウント	アカウントとはコンピュータの利用者を識別するための標識となる文字列のことです。ISM では ISM にログインするユーザーアカウントとノードのアカウントを扱いません。
9	アラーム	ノードから通知されたイベントや、ノードに対する通知情報、および SNMP トラップの発生を総称してアラームと呼びます。ISM が検出したアラームは、以下の画面で表示させることができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・[イベント] - [イベント] - [運用ログ]画面 ・[イベント] - [イベント] - [SNMPトラップ]画面 運用ログに記録されるアラームは情報の重大度に応じて Error , Warning , Info に分類します。SNMP トラップの場合は Critical, Major, Minor, Informational に分類します。 ISM はアラームを検出したときのアクションを、アラーム設定として指定することができます。
10	アラームステータス	アラームステータスは、ノードごとに ISM がアラームを検出したことを示します。つまり、該当ノードにアラームが 1 件以上発生したことを意味します。 アラームステータスはアラーム解除の操作により、アラームを確認したものとして消去されます。
11	イベント	イベントとは、ノードおよびISM 管理サーバに発生したすべての事象を指します。イベントは運用ログと監査ログおよび SNMP トラップに分類して管理します。
12	イベントログ	ノードログ表示する際に出力されるログの種類のひとつ。イベント系ログ
13	インフラ	情報システムを構成する ICT 機器(サーバ、ストレージ、スイッチ)およびサーバ OS/ハイパーバイザーです。

No.	用語	意味
14	ウィジェット	ダッシュボードに表示する各部品をウィジェットと呼びます。 それぞれのウィジェットは表示する内容が異なりますので、必要に応じてダッシュボードに配置してください。
15	運用ログ	次のイベントを ISM が検出した際に運用ログとして記録します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ノードが持つ正常・異常の状態変化 ・ノードから取得した温度、消費電力、FAN 回転数、リソースの使用率、ディスク転送速度、ネットワーク通信量が ISM に設定した正常範囲外となった ・タスクの開始、終了 ・ISM の起動、停止、異常発生 ・ノードや管理サーバに対する設定や操作の記録
16	SDS	Software Defined Storage の略称です。サーバに搭載されている物理ディスクをまとめてソフトウェア的に定義したストレージ、およびその管理技術を指します。
17	仮想化管理ソフトウェア	ISM では VMware vCenter Server、Microsoft System Center に加えて、Microsoft Failover Cluster 等も仮想化管理ソフトウェアとして扱います。サポートする仮想化管理ソフトウェアの詳細については、補足資料『ServerView Infrastructure Manager V2.2 仮想化管理ソフトウェア管理機能でサポートする仮想化管理ソフトウェア』を参照してください。
18	仮想リソース	ISM で管理できる仮想的なシステムリソースを指します。ISM では仮想リソースとしてストレージプールの管理ができます。
19	監査ログ	次のイベントを ISM が検出した際に監査ログとして記録します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーのログイン、ログアウト、ログイン失敗 ・不正な URI アクセス ・ISM の起動、停止、異常発生 ・ノードや管理サーバに対する設定や操作の記録 監査ログは、ISM 管理者のみ閲覧することができます。
20	管理サーバ	ISM-VA が動作する仮想マシンを管理サーバと呼びます。
21	管理端末	ISM を操作するためのパソコン、タブレットです。
22	記憶域プール	Microsoft Storage Spaces Direct が管理する仮想的なストレージ域を指します。記憶域プールはサーバに搭載された複数の物理ディスクを仮想的なストレージ域としてソフトウェア定義したものです。
23	グローバルナビゲーションメニュー	ISM の各画面上部に表示されるトップメニューです。  <p style="text-align: center;">グローバルナビゲーションメニュー</p>
24	更新ボタン	更新ボタンは画面を更新するためのボタンです。ISM は基本的には画面を自動更新しません。
25	Storage Spaces Direct	Microsoft 社が提唱する仮想ストレージを管理する機能です。

No.	用語	意味
26	ストレージプール	サーバ搭載の物理ディスクを統合して構成される、仮想的なストレージリソースです。サーバに搭載されるディスク数やその容量など、物理的な構成を考慮することなく、ストレージの切り出しや管理を柔軟に行うことができます。 ISM の仮想リソース管理機能により、以下のストレージプールを管理できます。 ・VMware VSAN の VSAN データストア ・Microsoft Storage Spaces Direct の記憶域プール
27	セキュリティログ	ノードログ表示する際に出力されるログの種類のひとつ。セキュリティ系ログ
28	操作ログ	ノードログ表示する際に出力されるログの種類のひとつ。操作系ログ
29	ダッシュボード	ノードの状態などの概要をまとめて表示することができる画面です。さまざまな目的のウィジェットを必要に応じて選択して表示することができます。
30	タスク	タスクは ISM が実行する処理のうち、時間がかかる処理を指しています。 タスクの処理状態を「タスク画面」に表示します。 タスクで実行する処理の詳細については、『ServerView Infrastructure Manager V2.2 ユーザーズマニュアル』のタスク管理の記事を参照してください。
31	電力制御	ラックに対して消費電力の上限値を定めて、その目標に抑えるようにラックに搭載された機器をコントロールします。
32	電力制御ポリシー	電力制御の機能において、運用のパターン別の定義を指しています。 2 種類のカスタム定義と、スケジュール運用の定義、最低消費電力運用の定義(ミニマム)の 4 種類が存在します。運用パターンに従って、消費電力の上限値を定義し、それを切り替えて運用することができます。
33	ネットワークマップ	ネットワークを管理する画面です。ノード間のネットワーク接続状態の表示、ポートに対する設定、設定情報の確認などを行います。
34	ノード	ISM が管理対象とする ICT 機器およびファシリティ機器をノードと呼びます。
35	ノードグループ	ノードの管理単位です。業務、部門等の単位でノードをグループ化できます。 ISM は管理対象のノードをグルーピングして管理することができます。ノードグループはユーザーグループと対応付けして管理します。
36	ノードログ	ノードログはノードが有しているログ情報(保管ログ参照)を指定した条件で表示したものです。
37	ノードステータス	実際にノードから取得した状態をあらわしています。
38	VA 操作権	REST API から ISM-VA の環境設定、基本設定、およびライセンスの登録、削除、置換を行う際に必要な権限です。
39	VSAN	Virtual SAN の略称です。VMware 社が提唱する仮想ストレージを管理する機能です。
40	フロアビュー	フロア内のラック配置位置をイメージ表示する画像です。フロア内に配置されたラック内のノードのステータスを俯瞰して監視できます。

No.	用語	意味
41	プロファイル	<p>プロファイルはノードに設定値を一括設定する目的で、設定値をひとまとまりのデータに集約したものです。</p> <p>ISM がノードに対する設定を行うには、プロファイルを作成し適用する手順を踏みます。</p> <p>プロファイルを通してノードのハードウェア設定および OS のインストールができます。</p>
42	保管ログ	<p>ノードのログ情報を収集し ISM に取り込んだ状態を保管ログと呼びます。ノードは以下のログ情報を有しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハードウェアログ ・オペレーティングシステムログ ・ServerView Suite ログ
43	ポリシー	<p>ポリシーはプロファイルの設定を補助するため仕掛けです。複数のプロファイルの同一の設定項目を同一の値に指定するために使用します。</p>
44	ポリシーグループ	<p>プロファイルグループ／ポリシーグループ</p> <p>多数のプロファイルおよびポリシーの管理を容易にするため、プロファイル、ポリシーはそれぞれ階層構造を持つ任意のグループを作成した上で、特定のグループ内に作成します。</p> <p>任意に作成するグループの他、デフォルト状態で作成されているグループも存在します。</p>
45	ユーザーグループ	<p>ISM を利用するユーザーの管理単位です。Administrator グループ、Administrator グループ以外の 2 種類が存在し、業務、部門等の単位でユーザーをグループ化できます。</p>
46	ユーザーロール	<p>ISM に対する操作権限です。Administrator ロール、Operator ロール、Monitor ロールの 3 種類が存在し、任意のユーザーグループに割り当てます。</p>
47	ラックビュー	<p>ラック内のノードの搭載位置をイメージ表示する画像です。</p> <p>ノードのモデル名、ノードの状態(正常/異常)、ノードの LED 点灯状態(点灯/消灯)等も表示します。</p>
48	リポジトリ	<p>ISM が利用する各種データを保管する ISM-VA 内の領域です。主に以下の用途で利用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファームウェアアップデート用のファームウェアを保管 ・OS インストール用の OS インストールイメージを保管 ・OS インストールに使用する ServerView Suite DVD を保管